

江北町教育支援センター「こあら」

【令和7年4月1日新規開設】

場所：郷土資料館3階（役場北側）

【目的】

- ・子どもたちの社会的な自立を促し、集団生活に適応する力を育てる場
- ・不登校の子どもたちの（家庭、学校以外の）第3の居場所
- ・不登校の保護者の相談・交流の場

【愛称「こあら」の意味】

・江北町はオーストラリアの学校と国際交流に取り組んでいます。オーストラリア固有の動物である「こあら」は、子供たちの人気ものです。母親に抱かれています子どもの「こあら」は、不登校の子どもたちを温かく見守り、支援を行う教育支援センターのイメージに合っていると思います。



支援体制・期間及び通所日

- ・ 支援・相談：指導員2名が対応
 - ※スクールカウンセラー,スクールソーシャルワーカーが相談対応
- ・ 期間：原則1年間(継続通級も可能)
- ・ 活動時間：9時～15時 ※個別の状況で対応
- ・ 通所日は『出席日数』として取り扱う
- ・ 指導員によるアウトリーチ(訪問支援)
- ・ 通学は、原則保護者送迎(中学生は自転車通学可)
- ・ 昼食は弁当持参
- ・ 費用は町立のため無料

支援の方針

居場所

リラックスして活動できる場

交流

ゲームやスポーツ体験

自立

自然

農作業や馬の世話

連携

学校・家庭との連携
専門家のカウンセリング

一日の活動の流れ

【教育支援センター日課表】

曜日	月	火	水	木	金
9:00~9:45	学習 1	学習 1	自主登校	学習 1	学習 1
10:05~10:50	自立活動	軽スポーツ		自立活動	軽スポーツ
11:10~11:55	学習 2	学習 2		学習 2	学習 2
11:55~13:00	昼休み			昼休み	
13:00~15:00	体験活動			体験活動	

体験活動（案）

- ・ 畑作業
 - ・・・近隣の農園を利用して、野菜栽培を行う。
- ・ 動物の世話体験
 - ・・・クラブリオで引退競走馬の世話を行う。
- ・ いちご収穫体験
 - ・・・町内のいちご農園で収穫体験を行う。
- ・ 散策、ミニ遠足
 - ・・・桜山周辺、みんなの公園、白木パノラマ孔園

軽スポーツ(案)

- 卓球(1階会議スペース)
- テニス(B&G)

自立活動

- 料理教室
- カードゲーム
- eスポーツ
- パズル など

学習活動

- タブレットを活用した自主学習
- 定期テスト対策
- 高校入試対策
- 資格取得【英検】対策
- 各教科の質問コーナー
- 夏休みの課題
- 英会話（ALTとの対話機会）

通所手続きの流れ

